

第 2 学年梅組 算数科略案

指導者 角崎 大

1. 日 時 1 月 23 日 (火) 2 校時 (9 : 20 ~ 10 : 05)
2. 単元名 三角形と四角形 (2 / 4)
3. ねらい ○ 三角形, 四角形の定義を理解することができる。
4. 本時の実際

時間	学習活動と児童の動き	教師の支援及び評価	センターの先生の支援	備考
9:20	1 前時の振り返りをする。	・ 前時までの活動を想起させる。		
9:23	2 本時のめあてを確認する。	・ 授業の進め方を説明する。		
	いろいろな形を仲間分けしよう。			
9:25	3 仲間分けをする。	・ 早くできた子どもには仲間分けをした理由を考えさせるように促す。なかなかできない子どもにはなぜ、仲間分けできないのかを、発表できるように促し、その子の悩みから発表が始まるようにする。		
9:35	4 考えを発表する。	・ 子どもの考えを類型化し、板書する。	○ 子ども達の発表を聞いて頂く。	
9:45	5 センターの先生の解説を聞き、三角形、四角形の定義をまとめる。	・ 定義を板書する。	○ 三角形、四角形の定義をまとめて頂く。 ○ 混乱する問題。(曲線であり閉じられていないものなど)を言わせない。(答えは本時を振り返っての感想や助言を頂く。)	
10:00	6 本時の振り返りをする。	・ 2 ~ 3 人に感想発表をするよう指名する。	○ 本時を振り返っての感想や助言を頂く。	